

浜松市議会議長 柳川 樹一郎 様

浜松市議会議員 馬塚 彩矢香 ㊞

一 般 質 問 通 告 書

( 一括方式・分割方式 )

下記のとおり質問したいので、会議規則第 59 条第 2 項の規定により通告します。

記

表 題	質 問 内 容 (簡潔・明瞭に記入)	答弁を求めようとする者の職名
1 プラごみゼロの社会の構築について 【SDGs の目標 14】  (1) プラごみゼロ宣言と脱プラスチックについて  (2) マイクロプラスチックについて	<p>SDGs の目標 14、「海の豊かさを守ろう」のターゲット 14.1 と 14.2 に関連する以下 2 点について伺う。</p> <p>環境省は、本年 5 月「海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」を策定しプラごみ対策を進め、6 月には大阪での G20 で「海洋プラスチックごみ対策実施枠組」に合意した。プラごみ問題は、世界規模の喫緊の課題であり、その解決には世界各国の積極的な取り組みと市民の協力が必要不可欠である。</p> <p>(1) 本市において、「プラごみゼロ宣言」を行い、市民と一体となって積極的なプラごみ対策を推進する考えはないか伺う。また、脱プラスチックを発信するために、まず本市が配付する各種施策の啓発用品を天然素材に変え、本市自らプラごみ発生抑制の姿勢を示していく考えはないか伺う。</p> <p>(2) 本市はマイクロプラスチック発生抑制のための啓発事業を進めているが、既に排出されたプラスチックごみ、特にマイクロプラスチックへの対策が不十分だと思われる。啓発事業と並行して既存のマイクロプラスチック回収事業を進める必要があると考えるが、今後の考えや施策について伺う。</p>	鈴木市長  影山環境部長
2 集中豪雨による冠水対策について 【SDGs の目標 13】	<p>SDGs の目標 13、「気候変動に具体的な対策を」のターゲット 13.1 に関連する以下について伺う。</p> <p>近年の異常気象で、全国各地で多発する大雨により甚大な被害が出ている。7 月の集中豪雨では、市内の複数箇所です冠水が発生した。沿岸部の生活道路では、数日間に亘り通行止めになるなど、市民生活へ大きな影響を及ぼした。今後もますます、異常気象による豪雨が予測され、被害を回避するためには、排水機場の機能が重要となる。</p>	山下農林水産担当部長

※分割方式を選択した場合は、分割する箇所を二重線で明確に区分してください。

質問順位	7	会派名	市民サポート浜松	議席番号	1
------	---	-----	----------	------	---

表 題	質 問 内 容 (簡潔・明瞭に記入)	答弁を求めようとする者の職名
	<p>そこで、本市の排水機場の管理体制の現状と今後の対策について伺う。</p>	
<p>3 こころの相談窓口の多言語化について【SDGsの目標3】</p>	<p>SDGsの目標3、「すべての人に健康と福祉を」のターゲット3.4に関連する以下について伺う。</p> <p>本市に在住する約24,800人の外国人市民の中には、慣れない環境の中で精神的な悩みを抱える人々もいるが、現在のこころの相談窓口は、ブラジル人のみが対象となっている。多国籍化が進む本市では、ポルトガル語以外の言語での対応も必要だと思われるが、相談窓口の多言語化の考えを伺う。</p>	<p>新村医療担当部長</p>
<p>4 祖父母世代への発達障害理解の促進について【SDGsの目標4】</p>	<p>SDGsの目標4、「質の高い教育をみんなに」のターゲット4.2に関連する以下について伺う。</p> <p>発達障害は早期発見・早期療育が必要であり、子育て環境を取り巻く家族の理解が大変重要である。しかし、祖父母世代からの理解が得られない、話をする事ができないといった母親からの声が多く聞かれる。</p> <p>そこで、子育てに関する常識が時代によって違うなどの世代間ギャップを埋めるため開催されている孫育て講座で、祖父母世代に発達障害への理解を促すことが望ましいと考えるが、対応する考えはあるか伺う。</p>	<p>金原こども家庭部長</p>
<p>5 思春期教室における不妊教育について【SDGsの目標3】</p>	<p>SDGsの目標3、「すべての人に健康と福祉を」のターゲット3.7に関連する以下について伺う。</p> <p>思春期性教育授業として、中学・高校で思春期教室が行われている。ここでは、思春期のからだの変化や思春期の学生に知って欲しいこと、考えて欲しいこととして、主な避妊法や避妊をしないリスクなどの避妊教育を盛り込んでいる。しかし、加齢などに伴う不妊教育は行われていない。自由にライフスタイルを選択できる時代であるが、性と生殖の的確な知識を得る機会が無いまま30代以降になり、自らの選択を後悔する声も聞かれる。</p> <p>そこで、思春期教室の内容や現在使用している冊子を見直し、男女の不妊リスクなど不妊教育を加える考えはないか伺う。</p>	<p>新村医療担当部長</p>
<p>6 教育現場について【SDGsの目標4】 (1) 教職員のSNS利用に関するガイドラインについて</p>	<p>SDGsの目標4、「質の高い教育をみんなに」のターゲット4.aに関連する以下2点について伺う。</p> <p>(1) 教職員のSNS利用に関するガイドラインが策定され、スマホ禁止令としてマスコミに取り上げられた。しかし、その一部分がクローズアップされたため、ガイドラインを策定した教育委員会と、教育現場や市民、教職員を志す学生などの理解に隔たりがあると思われる。ガイドラインが正しく理解・運用されるために、</p>	<p>花井教育長</p>

表 題	質 問 内 容 (簡潔・明瞭に記入)	答弁を求めようとする者の職名
(2) 私物スマートフォンについて	<p>策定の趣旨を伺う。</p> <p>(2) 現在、教職員は公用のために私物スマートフォンを使わざるを得ない場合があると聞いているが、本市はその実態をどのように把握しているか伺う。また、今後の対策について伺う。</p>	
<p>7 教育現場におけるSDG sの推進について</p> <p><b>【SDG sの目標4】</b></p> <p>(1) 教職員へのSDG s研修について</p> <p>(2) 児童生徒に対するSDG s教育の推進について</p>	<p>SDG sの目標4、「質の高い教育をみんなに」のターゲット4.7に関連する以下2点について伺う。</p> <p>(1) SDG sを教育現場に浸透させるためには、まず教職員に対してSDG sの研修を実施する必要がある。そこで、今年度の研修の開催状況を伺う。また、今後の実施についての考えを伺う。</p> <p>(2) 現代の子どもたちは、SDG sを前提とし物事を考えることが求められていく。そのためには、児童生徒に対し、今後、どのようにSDG sを学ぶ機会を作っていくのか伺う。</p>	花井教育長